



2021年12月21日

各位

会社名 株式会社 **ロピーヌ**  
代表者名 代表取締役社長 佐々木ベジ  
[コード番号 8143 東証 第2部]  
問合せ先 取締役常務執行役員経営統括本部長 尾崎史照  
(TEL 06-6946-3600)

### 新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を一部充たしていないことから、下記の通り、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額については、基準を充たしておりません。当社は、2024年2月までを目途に上場維持基準を充たすための下記の取り組みを進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (千円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	1,992人	10,990単位	413,526千円	42.8%
上場維持基準	400人	2,000単位	1,000,000千円	25%
計画書に記載の項目			○	

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券などの分布状況等をもとに算出を行ったものです。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題および取り組み内容

##### (1) 基本方針

当社グループの業績は、2021年2月期を遡る過去3期間において、営業損失を計上していることから株価が低迷しており、流通株式時価総額の適合基準を満たさない結果に至っていると認識しております。従いまして、業績の回復を早期に実現し、企業価値を高めて、株式市場で適正な評価を受けることが、流通株式時価総額を回復させることに繋がるものと考えております。

## (2) 課題

当社グループは、流通株式時価総額の適合基準に達していないという結果を踏まえ、その主たる要因が、株価の低迷にあり、その背景は、従来からの60歳代を中心とするハイミセス顧客層への依存度が高いことに加えて新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少にあると考えております。2021年7月9日に東京証券取引所から通知された「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」において、2021年4月から6月の日々の最終価格の平均値が376.2円でありましたが、流通株式数その算出基準日である2021年2月28日現在と同水準であると仮定した場合、流通株式時価総額の基準である10億円を満たすためには、株価910円以上が必要となります。これを解消するためには、業績の回復、安定的な収益の確保が命題であると考えられております。

## (3) 取り組み内容

上記(2)の課題を解消する為、以下の取り組みを継続して行ってまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高の低迷が長く続き、2021年9月末に緊急事態宣言の解除がなされた以降も、売上高がコロナ禍以前の水準に戻ることが難しいとの認識に基づき、卸売・小売事業については、

- ・供給するデザインソースの変更や販売価格の見直しによる新規顧客の開拓を進めます。
- ・百貨店、直営店売場など店頭VP（ビジュアルプレゼンテーション）は、従来の顧客へ向けた新商品のPRではなく、戦略商品をPRして、従来はラピーヌを知らなかった消費者に向けてアピールを強化し、新顧客の増大を図ります。
- ・製造、仕入のコントロールによる在庫リスクの低減
- ・製造原価の低減による適正粗利の確保

を2021年秋冬期にテストケースで開始、2022年春夏期以降本格的に実行するとともに、固定経費と変動経費の徹底的削減を継続して、2024年までの期間に売上高の維持拡大と安定的な営業利益を確保できる体制を整えてまいります。

ラピーヌ夢ファーム株式会社の福祉事業については、

野菜の水耕栽培、土耕栽培の生産性向上に努めるとともに作業効率アップに資する施設利用者の教育訓練に努め、営業利益の創出を2024年までに実現できる体制を整えてまいります。

当社グループは、上記の取り組みにより、企業価値の向上と株価の上昇を図るべく業績目標の達成に向けて努力を続けてまいります。その成果が発現するには、今後2年間の取り組み継続が必要と考えております。その上で、継続企業の前提に関する注記の解除を早期に実現し、当社株式の流通時価総額が、東京証券取引所が示す流通株式時価総額の適合基準をクリアすることにより、スタンダード市場における上場を維持するよう努力してまいり所存であります。

※計画数値（連結業績計画）

	2021年2月期（実績）	2022年2月期（見通）	2023年2月期（目標）
売上高（百万円）	5,227	4,800	4,800
営業利益（百万円）	△1,897	△450	100